

家畜福祉 不健康な動物から健全な食べ物が得られるか

# 「アニマルウェルフェア



## はじめの一步」



鳥インフルエンザの感染が広がり、鶏卵の価格が急騰、品薄にもなりましたが、あなたは鶏や牛、豚などがどのように飼われているか知っていますか？

近年、世界的に関心が高まっているアニマルウェルフェア（家畜福祉・動物福祉）。家畜に苦痛を与えない飼育を目指すこの取り組みは、1960年代にイギリスから始まり、現在はEU（欧州連合）、アメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国などにも広がっています。日本では長く取り組みが遅れていましたが、今年6月にアニマルウェルフェアの指針が公表されました。

学習会では日本での家畜飼育の現状とアニマルウェルフェアの取り組み、国が公表した指針についてお話を聞きます。毎日のように卵や牛乳、肉などを食べている私たちですが、その家畜たちの生活のあり方について、この機会に学んでみませんか？

日時 10月14日（土）13:30～15:30

会場 かでる2・7 750 研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）

講師 瀬尾哲也氏（帯広畜産大学畜産学部 准教授）

参加費 500円 北海道食の自給ネットワーク会員は 400円

定員 30名（定員になりしだい締め切ります）

締切 10月11日（水）

お申込み・お問い合わせ

電話 090-2818-5502（事務局）

FAX 011-789-8890 mail info@jikyuu.net

※お申込みの際は、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください

協力 生活協同組合コープさっぽろ



NPO 法人北海道食の自給ネットワーク

札幌市東区北15条東18丁目2-17（有）ワードエム内

NPO 法人北海道食の自給ネットワークホームページはこちら

